



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成19年1月30日

上場会社名 株式会社 群馬銀行

上場取引所 東証
本社所在都道府県 群馬県

コード番号 8334

(URL <http://www.gunmabank.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役頭取

氏名 四方 浩

問合せ先責任者 役職名 常務取締役
総合企画部長

氏名 田村 正明

TEL (027)252-1111(代)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 (添付資料5ページ参照)
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 (添付資料5ページ参照)
連結(新規)1社 (除外) - 社 持分法(新規) - 社 (除外) 1社

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(1)経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	122,565	(15.2)	28,708	(8.4)	12,019	(18.6)
18年3月期第3四半期	106,369	(1.0)	26,480	(180.0)	14,775	(203.6)
(参考)18年3月期	141,659	(0.4)	35,291	(255.3)	15,997	(206.0)

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	24	13		
18年3月期第3四半期	29	73		
(参考)18年3月期	32	08		

(注)経常収益、経常利益、四半期(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期(前期)増減率を示す。

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19年3月期第3四半期	5,882,260	378,204	6.3	749	26
18年3月期第3四半期	5,981,186	374,371	6.3	751	55
(参考)18年3月期	5,876,864	376,870	6.4	756	61

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除した比率であり、「銀行法第14条の2の規定に基づき自己資本比率の基準を定める件」(平成5年3月31日付大蔵省告示第55号)に基づいて算出する連結自己資本比率ではありません。

3. 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	161,000	41,000	19,500

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 39円14銭

平成19年3月期の通期の業績予想につきましては、平成18年11月24日発表の数値から変更ありません。

なお、上記の予想は、現時点で入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

[添付資料]

1.比較四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第3四半期(A) (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期(B) (平成18年3月期 第3四半期末)	比較 (A) - (B)	(参考) 平成18年3月期末 (C)	比較 (A) - (C)
(資産の部)					
現金預け金	103,000	108,491	5,490	82,748	20,252
コールローン	108	10,035	9,927	-	108
買入金銭債権	23,821	29,089	5,268	27,845	4,024
商品有価証券	6,865	2,051	4,814	1,893	4,972
金銭の信託	21,489	19,500	1,989	19,500	1,989
有価証券	1,950,479	2,018,087	67,607	2,026,826	76,347
貸出金	3,660,441	3,687,539	27,097	3,600,789	59,651
外国為替	2,027	2,488	460	2,151	123
その他資産	53,407	62,700	9,292	58,094	4,687
動産不動産	-	120,680	-	120,101	-
有形固定資産	115,514	-	-	-	-
無形固定資産	10,605	-	-	-	-
繰延税金資産	2,868	1,358	1,509	1,095	1,772
支払承諾見返	28,289	34,556	6,267	32,226	3,937
貸倒引当金	96,658	115,392	18,733	96,409	249
資産の部合計	5,882,260	5,981,186	98,925	5,876,864	5,396

(単位:百万円)

科 目	当第3四半期(A) (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期(B) (平成18年3月期 第3四半期末)	比較 (A) - (B)	(参考) 平成18年3月期末 (C)	比較 (A) - (C)
(負債の部)					
預金	5,220,826	5,223,866	3,040	5,164,095	56,730
譲渡性預金	37,282	49,605	12,322	43,192	5,909
コールマネー及び売渡手形	92,951	127,731	34,780	81,654	11,297
債券貸借取引受入担保金	10,293	71,626	61,333	64,918	54,625
借入金	19,335	19,474	138	19,561	225
外国為替	685	291	393	417	267
その他負債	43,585	37,767	5,817	42,400	1,185
退職給付引当金	2,195	2,142	52	2,200	5
繰延税金負債	36,060	23,744	12,316	33,245	2,815
再評価に係る繰延税金負債	12,551	13,032	481	13,031	480
支払承諾	28,289	34,556	6,267	32,226	3,937
負債の部合計	5,504,055	5,603,839	99,783	5,496,944	7,111
(少数株主持分)					
少数株主持分	-	2,975	-	3,049	-
(資本の部)					
資本金	-	48,652	-	48,652	-
資本剰余金	-	29,234	-	29,235	-
利益剰余金	-	186,859	-	188,083	-
土地再評価差額金	-	15,092	-	15,090	-
その他有価証券評価差額金	-	98,584	-	99,775	-
為替換算調整勘定	-	338	-	228	-
自己株式	-	3,713	-	3,738	-
資本の部合計	-	374,371	-	376,870	-
負債、少数株主持分及び資本の部合計	-	5,981,186	-	5,876,864	-
(純資産の部)					
資本金	48,652	-	-	-	-
資本剰余金	29,262	-	-	-	-
利益剰余金	197,507	-	-	-	-
自己株式	3,752	-	-	-	-
株主資本合計	271,669	-	-	-	-
その他有価証券評価差額金	87,408	-	-	-	-
繰延ヘッジ損益	15	-	-	-	-
土地再評価差額金	14,404	-	-	-	-
為替換算調整勘定	232	-	-	-	-
評価・換算差額等合計	101,564	-	-	-	-
少数株主持分	4,970	-	-	-	-
純資産の部合計	378,204	-	-	-	-
負債及び純資産の部合計	5,882,260	-	-	-	-

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2.比較四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第3四半期(A) (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期(B) (平成18年3月期 第3四半期)	比較 (A) - (B)	(参考) 平成18年3月期
経常収益	122,565	106,369	16,195	141,659
資金運用収益	75,909	72,007	3,901	95,266
(うち貸出金利息)	(51,441)	(49,648)	(1,793)	(66,073)
(うち有価証券利息配当金)	(21,926)	(19,778)	(2,147)	(25,978)
信託報酬				0
役務取引等収益	15,258	13,042	2,215	17,999
その他業務収益	19,665	18,486	1,179	24,656
その他経常収益	11,732	2,833	8,898	3,737
経常費用	93,856	79,889	13,967	106,368
資金調達費用	10,779	8,264	2,515	10,923
(うち預金利息)	(6,750)	(3,752)	(2,997)	(5,047)
役務取引等費用	2,966	3,448	481	4,609
その他業務費用	24,805	18,056	6,748	24,655
営業経費	42,099	41,242	856	54,240
その他経常費用	13,205	8,877	4,328	11,938
経常利益	28,708	26,480	2,228	35,291
特別利益	139	971	831	978
特別損失	2,447	1,253	1,194	1,390
税金等調整前四半期 (当期)純利益	26,401	26,198	202	34,879
法人税、住民税及び事業税	3,943	1,932	2,011	354
法人税等調整額	10,122	9,050	1,072	18,009
少数株主利益	314	441	126	517
四半期(当期)純利益	12,019	14,775	2,755	15,997

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

3. 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期（自平成18年4月1日 至 平成18年12月31日）

（単位：百万円）

	株 主 資 本				
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株主資本 合 計
平成18年3月31日残高	48,652	29,235	188,083	3,738	262,232
当四半期中の変動額					
剰余金の配当(注)2	-	-	3,237	-	3,237
役員賞与(注)2	-	-	45	-	45
当四半期純利益	-	-	12,019	-	12,019
自己株式の取得	-	-	-	104	104
自己株式の処分	-	27	-	90	117
土地再評価差額金の取崩額	-	-	685	-	685
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	-	-	-	-	-
当四半期中の変動額合計	-	27	9,423	13	9,437
平成18年12月31日残高	48,652	29,262	197,507	3,752	271,669

	評 価 ・ 換 算 差 額 等					少数株主 持 分	純資産 合 計
	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	土 地 再 評 価 差 額 金	為 替 換 算 調 整 勘 定	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成18年3月31日残高	99,775	-	15,090	228	114,637	3,049	379,920
当四半期中の変動額							
剰余金の配当(注)2	-	-	-	-	-	-	3,237
役員賞与(注)2	-	-	-	-	-	-	45
当四半期純利益	-	-	-	-	-	-	12,019
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	104
自己株式の処分	-	-	-	-	-	-	117
土地再評価差額金の取崩額	-	-	-	-	-	-	685
株主資本以外の項目の 当四半期中の変動額(純額)	12,367	15	685	3	13,072	1,920	11,152
当四半期中の変動額合計	12,367	15	685	3	13,072	1,920	1,715
平成18年12月31日残高	87,408	15	14,404	232	101,564	4,970	378,204

(注)1 記載金額は百万円未満を切り捨てております。

2 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目および平成18年11月の取締役会決議による中間配当であります。

4. 四半期財務情報作成のための基本となる事項

- (1) 当行は、中間(連結)財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用して四半期財務情報を作成しております。

会計処理の方法における簡便な方法

【貸倒引当金の計上基準】

貸倒引当金につきましては、12月末時点の自己査定に基づく債務者区分残高に平成18年9月中間期で使用した貸倒実績率等を適用して算出しております。

- (2) 群馬信用保証株式会社は、従来、持分法適用非連結子会社としておりましたが、当第3四半期から連結子会社としております。

5.事業の種類別セグメント情報

当第3四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	銀行業務	リース業務	その他業務	計	消去又は全社	連結
経常収益						
(1)外部顧客に 対する経常収益	102,631	18,940	993	122,565	-	122,565
(2)セグメント間の 内部経常収益	521	1,175	2,166	3,863	(3,863)	-
計	103,152	20,115	3,160	126,428	(3,863)	122,565
経常費用	75,360	19,370	2,986	97,718	(3,861)	93,856
経常利益	27,791	744	174	28,710	(1)	28,708

(注) 1 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2 業務区分は連結会社の業務の内容により区分しております。

3 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。

前第3四半期(自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)

(単位:百万円)

	銀行業務	リース業務	その他業務	計	消去又は全社	連結
経常収益						
(1)外部顧客に 対する経常収益	88,469	17,854	45	106,369	-	106,369
(2)セグメント間の 内部経常収益	442	1,177	1,715	3,335	(3,335)	-
計	88,911	19,032	1,761	109,705	(3,335)	106,369
経常費用	63,733	17,790	1,698	83,222	(3,333)	79,889
経常利益	25,178	1,241	62	26,482	(2)	26,480

(注) 1 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2 業務区分は連結会社の業務の内容により区分しております。

3 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。

(参考)

平成18年3月期(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	銀行業務	リース業務	その他業務	計	消去又は全社	連結
経常収益						
(1)外部顧客に 対する経常収益	117,884	23,714	60	141,659	-	141,659
(2)セグメント間の 内部経常収益	589	1,696	2,271	4,557	(4,557)	-
計	118,473	25,411	2,332	146,216	(4,557)	141,659
経常費用	84,768	23,915	2,252	110,935	(4,567)	106,368
経常利益	33,705	1,496	79	35,281	10	35,291

(注) 1 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2 業務区分は連結会社の業務の内容により区分しております。

3 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。

平成19年3月期第3四半期決算について

当行の平成19年3月期第3四半期決算(平成18年4月1日から平成18年12月31日)についてお知らせいたします。

1. 第3四半期の損益状況(単体)

コア業務純益は、経費が増加したものの、資金利益や役務取引等利益が増加したことから、前年同期比18億円増加し344億円となりました。
 経常利益も、与信費用が増加したものの、前年同期比27億円増加し278億円となりました。
 しかし、四半期純利益は、評価性引当額の増加に伴う繰延税金資産の取崩などから、前年同期比25億円減少し118億円となりました。

		19年3月期 第3四半期 (9ヵ月間)		19年3月 業績予想 (12ヵ月間)	(参考)18年3月 実績 (12ヵ月間)
		前年同期比			
コア業務粗利益	1	770	28	1,008	989
資金利益	2	655	14	853	847
役務取引等利益	3	109	13	146	133
その他業務利益 (注)2	4	6	0	9	8
経費()	5	426	10	568	549
人件費	6	224	6	295	287
物件費	7	181	4	248	237
税金	8	20	0	24	24
コア業務純益 1-5	9	344	18	440	440
有価証券関係損益	10	16	28	40	13
うち債券関係損益	11	67	55	68	20
うち株式関係損益	12	84	83	108	6
与信費用()	13	98	28	109	94
一般貸倒引当金繰入額()	14	62	68	45	1
不良債権処理費用()	15	35	40	63	96
その他臨時損益等	16	15	9	18	2
経常利益	17	278	27	390	335
特別損益	18	23	20	23	4
うち減損損失(固定資産)()	19	10	0	10	10
うち未払時間外手当支払()	20	11	11	11	-
うち退職給付制度の一部終了に伴う利益	21	-	8	-	8
法人税等()	22	136	32	176	176
うち繰延税金資産の取崩()	23	43	34	39	47
四半期純利益	24	118	25	190	154

(注)1. 金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

2. その他業務利益は、国債等債券関係損益を除いております。

3. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、国債等債券関係損益除きの業務純益です。

通期の業績予想につきましては、概ね計画どおり順調に推移しておりますので、平成18年11月24日発表の業績予想を変更しておりません。

2. 金融再生法ベースの категорияによる開示(単体)

金融再生法ベースの категорияによる開示債権は、18年9月末比32億円増加し1,842億円となりました。
 総与信に占める比率については、18年9月末比0.06%上昇し4.92%となりました。

(単位:億円)

	18年12月末		17年12月末	18年9月末	17年12月末
		18年9月末比			
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	449	24	382	474	831
危険債権	840	43	132	796	707
要管理債権	553	13	79	540	474
小計(金融再生法開示債権)	1,842	32	170	1,810	2,013
正常債権	35,539	132	186	35,406	35,726
合計	37,380	164	357	37,216	37,738

(注)本表の記載金額は、億円未満を四捨五入して表示しております。

総与信に占める割合(%)	4.92	0.06	0.41	4.86	5.33
--------------	------	------	------	------	------

上記の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の categoriaにより分類しております。

また、同計数は平成17年12月末、平成18年9月末及び平成18年12月末を基準日として当行の定める自己査定基準に基づき算出しております。

なお、当行は部分直接償却を実施しておりませんが、仮に実施した場合の計数は次のとおりであります。

【仮に部分直接償却を実施した場合】

(単位:億円)

	18年12月末		17年12月末	18年9月末	17年12月末
		18年9月末比			
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	164	29	91	193	256
危険債権	840	43	132	796	707
要管理債権	553	13	79	540	474
小計(金融再生法開示債権)	1,557	27	119	1,529	1,437
正常債権	35,539	132	186	35,406	35,726
合計	37,095	160	67	36,935	37,163

(注)本表の記載金額は、億円未満を四捨五入して表示しております。

総与信に占める割合(%)	4.19	0.06	0.33	4.13	3.86
--------------	------	------	------	------	------

債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権 (「実質破綻先」、「破綻先」の債権)

危険債権 (「破綻懸念先」の債権)

要管理債権 (「要注意先」のうち、3ヵ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

3. 連結自己資本比率

19年3月期の連結自己資本比率は、11.5%程度を予想しております。
 また、連結Tier 比率は、8.0%程度を予想しております。

	19年3月末 (予想値)	18年9月末 (実績値)
連結自己資本比率	11.5%程度	11.46%
連結Tier 比率	8.0%程度	7.95%

4. 時価のある有価証券の評価差額(単体)

18年12月末のその他有価証券の評価益は、18年9月末比27億円減少し1,464億円となりました。

(単位:億円)

	18年12月末						18年9月末				17年12月末			
	時価	評価 差額	18年9月 末比		17年12月 末比		時価	評価 差額	うち益	うち損	時価	評価 差額	うち益	うち損
			18年9月 末比	17年12月 末比	うち益	うち損								
その他有価証券	18,067	1,464	27	187	1,549	85	17,724	1,491	1,565	73	18,795	1,651	1,709	57
株式	2,618	1,390	4	72	1,400	10	2,606	1,395	1,404	8	2,706	1,462	1,466	3
債券	13,640	7	37	91	59	66	13,114	30	83	52	13,584	84	130	45
その他	1,808	80	15	23	89	8	2,002	65	77	12	2,504	103	112	8

(注)1.「評価差額」及び「含み損益」は、帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価(貸借対照表計上額)との差額を計上しております。

2.満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

(単位:億円)

	18年12月末						18年9月末				17年12月末			
	帳簿 価額	含み 損益	18年9月 末比		17年12月 末比		帳簿 価額	含み 損益	うち益	うち損	帳簿 価額	含み 損益	うち益	うち損
			18年9月 末比	17年12月 末比	うち益	うち損								
満期保有目的の債券	1,002	0	3	18	6	6	1,023	3	8	4	1,132	18	19	1

5. デリバティブ取引(単体)

デリバティブ取引については、取引先の要望に応えるために取組むものなどが中心で投機性の高い取引は行っておりません。また、デリバティブの評価損益は僅かであります。

(1) 金利関連取引

(単位:億円)

区分	種類	18年12月末					18年9月末			17年12月末		
		契約額	時価	評価 損益	18年9月 末比	17年12月 末比	契約額	時価	評価 損益	契約額	時価	評価 損益
取引所	金利先物	99	0	0	0	-	-	-	74	0	0	
店頭	金利スワップ	287	0	0	0	0	264	0	0	25	0	0
	その他	43	-	0	-	0	45	-	0	15	-	0

(注)ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(2) 通貨関連取引

(単位:億円)

区分	種類	18年12月末					18年9月末			17年12月末		
		契約額	時価	評価 損益	18年9月 末比	17年12月 末比	契約額	時価	評価 損益	契約額	時価	評価 損益
店頭	通貨スワップ	638	2	2	0	1	481	1	1	167	0	0
	為替予約	358	2	2	0	2	336	2	2	429	0	0
	通貨オプション	1,116	-	0	0	0	1,213	-	0	999	-	0

(注)ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(3) 債券関連取引

(単位:億円)

区分	種類	18年12月末					18年9月末			17年12月末		
		契約額	時価	評価 損益	18年9月 末比	17年12月 末比	契約額	時価	評価 損益	契約額	時価	評価 損益
取引所	債券先物	1	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
店頭	債券店頭オプション	20	0	0	0	0	-	-	-	13	0	0

(注)ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(4) 株式関連取引、商品関連取引、その他 該当事項はありません。

6. 貸出金(単体)

貸出金は、中小企業向け貸出や住宅ローンを中心とする個人向け貸出の増強に努めたことなどから、18年9月末比166億円増加し3兆7,036億円となりました。

(単位:億円)

	18年12月末		17年12月末比	18年9月末	17年12月末
		18年9月末比			
貸出金	37,036	166	292	36,869	37,329
うち中小企業等貸出	27,283	248	255	27,035	27,027
うち中小企業向け貸出	16,361	198	123	16,163	16,238
うち個人向け貸出	10,921	49	132	10,871	10,789
うち住宅ローン	10,186	79	193	10,107	9,993

7. 預金(単体)

預金は、個人預金が増加したことなどから、18年9月末比523億円増加し5兆2,263億円となりました。

(単位:億円)

	18年12月末		17年12月末比	18年9月末	17年12月末
		18年9月末比			
預金	52,263	523	14	51,739	52,278
うち個人	38,610	538	59	38,071	38,670
うち法人	10,768	116	29	10,884	10,798

8. 個人預り資産(単体)

個人預り資産は、投資信託を中心に、18年9月末比517億円増加し6,709億円となりました。

(単位:億円)

	18年12月末		17年12月末比	18年9月末	17年12月末
		18年9月末比			
投資信託	3,615	444	1,169	3,170	2,446
外貨預金	364	28	19	393	345
公共債(国債等)	2,729	101	516	2,627	2,212
合計	6,709	517	1,705	6,191	5,004

(参考)

個人年金取扱累計保険料	952	79	321	873	631
-------------	-----	----	-----	-----	-----

上記に記載した平成19年3月期第3四半期の数値は、監査法人による監査を受けておりません。

以上